

■ 感染症医療人材養成事業<ロジックモデル>

現状把握 ・課題設定	インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム			インパクト
<p>新型コロナウイルス感染症対応から得られた以下の3つの教訓を踏まえ大学病院の機能強化とそのための人材養成を図ることが必要。</p> <p>①感染症の診断や特色を踏まえた対処法等、より専門的な教育・実習を医学部生等の教育カリキュラムに組み込む必要。</p> <p>②感染症流行下においても医療崩壊を招かないよう院内感染を防止しながら持続的に高度医療を提供することの必要性。</p> <p>③新型コロナの重症者の6割を受入れ感染症対応でも「最後の砦」となる大学病院の強靱化を図ることの必要性。</p>	<p>予算：3,800百万円</p>	<p>感染症の特性等を踏まえた診療や感染制御に関する教育プログラムを構築し、医学部生等を対象にシミュレーション設備を用いた実践的な教育を実施。</p>	<p>①教育プログラムの構築数</p> <p>②教育プログラムの受講者数</p>	<p>【短期】</p> <p>①感染症の特性に応じた教育プログラムによる感染拡大抑制や院内感染防止等の方策の確立</p> <p>②医学部医学科及び大学病院等における感染症対応に精通した医療人材の増加</p> <p>③「最後の砦」として未知の感染症にも対応できるよう大学病院の強靱化</p>	<p>【中期】</p> <p>①自大学及び大学病院以外の医療機関における感染症対応に精通した医療人材の増加</p>	<p>【長期】</p> <p>①感染症発生時の感染者数の増加の抑制</p> <p>②感染症発生時の感染者の治癒率の向上、死亡率の低下</p> <p>③院内感染防止による休診診療科数の増加の抑制</p>	<p>①感染症の拡大抑制に機動的に対応することにより社会経済活動の維持に寄与</p> <p>②大学病院が感染症の特性に応じた最善の医療を提供するとともに、院内感染を防止し持続的に高度医療を提供することにより国民の健康と安心安全の確保</p>